

2017(平成 29)年度 事業報告

認定特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

(2017 年度の重点事業)

- ① 生物多様性保全の行動につなげる普及に関する研究
- ② 種の保存法改正へ他団体との連携による提言
- ③ 次回 CITES CoP18 に向けた情報収集、発信
- ④ 海外からの寄付金受け入れ体制を整える

1. 研究会運営

(1) 「公開理論研究会」

6 月 17 日 (土) に総会と同日開催

話題提供：永石理事「企業のリスク管理と NGO とのパートナーシップ」

(2) 上記を会報 No.82 に掲載 過去に会報に掲載した論説をホームページに再掲

2. 調査提言

(1) 種の保存法改正への対応

種の保存法改正の国会審議に対し、他団体と連携してロビイングを行った。附帯決議で国際希少野生動植物種の国内取引の規制強化、象牙国内市場閉鎖決議をふまえた全形牙の登録のあり方、輸入が差し止められた動植物の原産国への返還の方策の検討が盛り込まれた。

(2) ワシントン条約、生物多様性条約など国際会議および世界の野生生物の状況を情報収集。

とくに CITES CoP18 で議題になり、日本が消費国である象牙、ウナギ、サメなど海洋生物、ペット取引について国内外の情報を収集する。

(3) 生物多様性保全の行動につなげる普及に関する研究【地球環境基金申請事業 2 年目】

SDGs 目標 12 持続可能な生産・消費に関連し、以下を行った。

日本においてどのような情報が不足し、また誤解されているのか、研究会を開催して検討し、報告書を作成。報告書を基にしたガイドブックを作成した。

3. 生息地支援

JX 日鉱日石エネルギー (ENEOS・現 JXTG ホールディングス) からの寄付により、ゴリラの生息地で保全活動は 2017 年 3 月に終了し、今年度に入金した寄付金を支援先に送金するとともに、活動報告を会報に掲載した。

4. 普及啓発

(1) 消費と絶滅に関する情報発信

調査提言事業および翻訳ボランティアのご協力により得た、消費と絶滅に関する情報をウェブサイトで発信した。

(2) セミナーの開催

3月2(金)ー3日(土) 国連野生生物の日記念イベント GEOC 共催 IUCNJ 後援

会報表紙のイラスト展と映画「ナレディ」(配給元が提供) 上映とトークイベント

*2月17日(土)に予定をしていた「大人のどーぶつ倶楽部第1回ズーラシア編 講師:羽山伸一 日本獣医生命大学教授」は鳥インフルエンザのため4月22日に延期した。

(3) IUCN 日本委員会にじゅうまるプロジェクトの登録団体としてイベントに協力

7月29日 IUCN 親善大使のイルカさんコンサートにてブース展示

2月16-17日 にじゅうまるパートナーズ会合(会場:国学院大学)に協力

(4) エコプロダクツ 2017 出展

12月7-9日 テーマ「生物多様性保全と持続可能な生産・消費」。ブース訪問者にアンケートを実施、また出展企業にヒアリングを行った【地球環境基金事業】

(5) 講師派遣およびパネルや動画などの貸し出し

申込はなかった

(6) メールマガジン、ウェブサイトなど電子媒体による発信

フォロワーTwitter 672 Facebook 618 メールマガジン 661通 (3月末)

(7) 消費と絶滅に関する情報発信

調査提言事業および翻訳ボランティアの協力により得た、消費と絶滅に関する情報を発信した。

5. 国際会議参画

(1) IUCN、SSN、CBD アライアンスなど国際団体のメンバーとして情報収集と情報発信

(2) ワシントン条約第39回動物委員会(2017年7月18-21日)に真田康弘氏(早稲田大学地域・地域間研究機構 研究院客員准教授/客員主任研究員)が科研「地球環境ガバナンスとレジームの変動-CITESの発展・変容と国内実施」の研究費により参加した。日本政府のワシントン条約の解釈が発展するワシントン条約の運用と乖離していることを、国際法・政治の視点から解明することは、JWCSのワシントン条約に関する事業の学術的背景として重要であるため。

(3) ワシントン条約第69回常設委員会に参加し、「ニホンウナギの生息状況と日本におけるウナギ養殖・販売の現状」英語、フランス語、スペイン語版を会場で配布。上記真田氏が動物委員会に参加し、参加者はニホンウナギへの関心が低いことがわかったため、関係者並びに常設委員会参加者に情報提供を行った。ヨーロッパウナギ保全活動をする団体のウェブサイトに掲載されるなど情報発信は成功した。【自然保護助成基金緊急助成】

(4) 8月4日 CITES 第29回動物委員会参加報告会開催(GEOC)

10月21日 IUCN 日中韓会員会合に安藤会長が参加(金沢)

12月21日 CITES 第69回常設委員会参加、報告会を開催。(GEOC)

6. 会報発行

年3回発行

7. NPO 運営

(1) 事務局員3名、ボランティア2名で運営。

(2) ウェブサイト改定を行い、クレジットカードから寄付や会費を送金できるシステムにした。海

外からの送金にも対応。

(3) 寄付先拡大

遺贈先を紹介する冊子『社会貢献団体ガイドブック』（鎌倉新書）に掲載され、寄付者紹介事業の契約を結んだ。

イルカさんコンサート、エコプロなどイベントを通じた入会拡大を行い、エコプロで1名が入会した。

以上